



# 1液水性ラジカル制御形ハイブリッド高耐候性塗料

ホルムアルデヒド  
放散等級 F☆☆☆☆

JIS A 6909 耐候形1種相当※  
※該当規格を満たしています(社内試験)

## ニッペ パーフェクトトップ

### 特長

#### 抜群の作業感

ポリマーハイブリッド効果により、ローラーが軽く、ネタ伸ばしがスムーズに行えます。ローラーネタ含み性及び転写性にもすぐれており、隠蔽(かぶり)も良く、飛散がしにくい作業性を有しており、水性で非危険物です。

#### すぐれた耐候性

紫外線による塗膜劣化対策として当社独自の「ラジカル制御」技術により、当社従来水性塗料との比較においてシリコングレードを超える非常にすぐれた耐候性があります。  
耐候形1種に相当し、可とう形改修塗材Eの上塗りに最適です。

#### 美しいつや

特殊ポリマーが塗膜間の隙間を埋めるため、緻密でなめらかな塗膜形成が可能となり、すぐれた高光沢を実現できました。また、パーフェクトシリーズ下塗りとの組み合わせによりさらに美しい外観が得られます。ニーズに合わせたしっとりとした落ち着きのある3分つや、つや消しなどつやの調整も可能です。

#### 低汚染性

親水化技術により、雨だれ汚染に対してすぐれた効果を発揮します。

#### 防藻・防かび機能

防藻・防かび機能で、いやな藻やかび菌の発生を抑制します。オプションで強力防かびを選択することも可能です。

#### 透湿性

高い透湿性により、結露から建物をまもります。

### 標準塗装仕様 (塗り替え)

#### モルタル面、コンクリート面の塗り替えなど

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、汚れを除去、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトフィラー	1	0.20~0.45	4時間以上	水道水	3~8	ウールローラー
			0.50~0.90			1~5	砂骨ローラー
上塗り	ニッペ パーフェクトトップ	2		0.11~0.17		3時間以上	2~5
			3~5				はけ、ウールローラー エアレススプレー

※ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が速まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをご推奨致します。(作業性や仕上がりの向上を更に図ることができます。)

#### 窯業系サイディングボード、ALCパネル面の塗り替えなど

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、汚れを除去、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトサーフ	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	はけ、ウールローラー
上塗り	ニッペ パーフェクトトップ	2	0.11~0.17	3時間以上		3~5	はけ、ウールローラー エアレススプレー

#### 付帯金属面、金属パネル外壁、FRPの塗り替えなど

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。さびは電動工具やサンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトプライマー	1	0.14~0.16	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ローラー
			0.16~0.18			0~5	エアレススプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトトップ	2	0.11~0.17	3時間以上	水道水	3~5	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※金属パネル外壁は、パネル全面にエンボスなどの凹凸模様のある金属サイディングに限ります。平滑(フラット)な面に塗装した場合には、塗り継ぎなどの仕上がりに不良に至る場合がありますのでご注意ください。

※一般鉄部にはニッペパーフェクトプライマー以外に、ハイボン20デクロ、ニッペ1液ハイボンファインデクロ、速乾PZヘルゴンエコ、ハイボンファインプライマー-IIも使用できます。

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、ニッペパーフェクトプライマーで部分補修を行ってから下塗りしてください。

※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

ペイントかわら版

読者募集!

登録無料

いますぐご登録を。

※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。  
<http://paintkawayaban.jp/form/>



NIPPON PAINT CO.,LTD.

# ニッペ パーフェクトトップ

## 塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法
ニッペ パーフェクトトップ	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り つや消し	15kg 4kg	水道水	3~5%	0.11~0.17	はけ ウールローラー エアレスプレー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定器・測定方法により増減します。  
 ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。  
 ・つや調整品については、クラックのリスクがあるため、DANファイラーエボおよびDANタイル中塗の上には適用できません。

## 乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	40分	15分	10分
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 適用下地(塗り替え改修用)


●モルタル面 ●コンクリート面	●窯業系サイディングボード ●ALCパネル面	各種 旧塗膜	ニッペ パーフェクトファイラー ニッペ パーフェクトサーフ
●付帯金属面 ●金属パネル外壁*1	●FRP ●亜鉛メッキ	●木部 ●アルミ 各種 旧塗膜	ニッペ パーフェクトプライマー
●無機フッ素下地の高意匠サイディングボード (従来のモルタル、コンクリート面などにも塗装できます。)			水性パーフェクトシーラー ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー ニッペ ファインパーフェクトシーラー

※1 金属パネル外壁は、パネル全面にエンボスなどの凹凸模様のある金属サイディングに限ります。平滑(フラット)面に塗装した場合には、塗り継むらなどの仕上がり不良に至る場合がありますのでご注意ください。

## 施工上の注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 遮熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分にでき結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやムラが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートをオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 塗装後、乾燥不十分や状態が降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によって濁色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできないので早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄面としてください。付着菌をおさおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風通し・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 塗り替え時のシーラーは、ニッペウルトラシーラーまたはニッペ水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤膨れを生じさせることがあります。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗膜面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
- 素地表面(モルタル)硬度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または9%以下(ケット科学社製H500シリーズ・コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のこみ、ほこり、エアロレックス、レイタスなどは除去し、目隠し、ジャンク、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ)材カチオンファイラー、ニッペファイラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパワの使用は避けてください。)
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレックスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 1塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどは、皮膚の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- 2屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 3塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にに行い、火気厳禁にしてください。
- 4飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 5シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペパーフェクトNBシーラーを除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 6空木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 7薄めすぎは隠れ不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 8上塗りしに済んだイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、色相を下塗りしてから塗装してください。
- 9調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 10濃彩色や元々の原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ニッペファインシリコンフレッシュカラーを上塗りに塗装してください。クリアーのローラーおよび刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や染みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 11大面積の塗装では塗膜部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず混ぜておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 12はけ塗りの仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 13ローラー塗りの場合、ローラー目は一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なるて見えることがあります。
- 14塗装方法により色相が多少変化する場合があり、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- 15汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず混ぜておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 16ローラー、ハケなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、ハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 17可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビ珪藻土、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 18表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- 19平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 20塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 21大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色しように見える場合があります。
- 22塗料凍結の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 23製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項

ニッペ パーフェクトトップ ホワイト		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本来の用途以外に使用しないでください。</li> <li>2 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。</li> <li>3 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。</li> <li>4 口をすずめてください。</li> <li>5 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。</li> <li>6 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。</li> <li>7 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。</li> <li>8 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。</li> <li>9 眼の刺激が強く場合：医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>10 施設して保管してください。</li> <li>11 直射日光や水濡れは厳禁です。</li> <li>12 塗料等の年の積み重ねは3段までとしてください。</li> <li>13 日光が当る遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく露しないでください。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>14 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。</li> <li>15 容器はつり上げてください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)</li> <li>16 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すや環境に影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。</li> <li>17 粉じり/塵/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。</li> <li>18 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。</li> <li>19 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。</li> <li>20 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。</li> </ol>	
<p>危険</p>  <p>危険有害性情報</p>	<p>長期にわたる、又は反復く露による臓器の障害</p>	

# 日本ペイント株式会社

- 北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
 東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180  
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
 中部支店 ☎052-461-1960

●このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2021 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

●詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログ

NP-Z014

SS210420T  
2021年4月現在